

研究の概要

(1) 研究主題

教科等	研究主題	記事
道徳	人とのつながりを大切にし、 よりよい生き方を求める実践力の育成 ～言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組み～	

(2) 主題設定の理由

本校の児童の実態として次のような傾向が見られる。素直で優しく、まじめであるが、人の目を気にしすぎたり、人の言動に流されやすかったりする。自分の考えを持って進んで行動したり、粘り強く課題や目標に立ち向かったりする力をもっとつける必要がある。相手の立場に立って考えたり、相手の気持ちを推し量ったり、自分の気持ちを言葉でうまく表現したるするのが苦手なために、友達とのトラブルが生じたり、言葉遣いが適切でなかったりすることが多い。そのため、自尊感情を高めることやコミュニケーション能力を育成することが、喫緊の課題であった。

平成20年度から、「道徳の時間」における〔指導過程の基本型〕をもとに授業研究を実施し、導入・展開・終末の流れや板書計画、資料提示などについて検証し、研究を深めてきた。詩の暗唱や五七五、詩作等を取り入れて言語感覚を磨いたり、縦割り活動、チャレンジ100の取組みなどによって、自尊感情を高めたりしようと取り組んできた。

本年度は、文部科学省指定道徳教育実践研究事業推進校の2年目の取り組みとなる。子ども育ての中核に道徳教育を位置づけ、「道徳の時間」の指導法のさらなる工夫や改善、自尊感情を高め、道徳的価値を発展させる特別活動や体験活動の実践、「学校応援団」のネットワークを活用し、家庭や地との連携を基盤にした道徳教育の推進体制の確立をさらに深化させたいと思っている。

(3) 研究の内容

I 道徳的価値の自覚を深め、子どもの心を揺さぶる「道徳の時間」の工夫

- ・「授業分析会」の充実
- ・総合单元的な道徳学習の改善と充実
- ・ふるさと資料の開発と活用の工夫
- ・「心のノート」「道徳ノート」「道徳コーナー」の活用

II 言語感覚を磨き、自尊感情を高め、道徳的価値を自分なりに発展させる具体的な実践活動や体験活動を創出する。

- ・言語感覚を磨く…詩の暗唱、詩作、五七五作品づくりなど
- ・自尊感情を高める…詩の暗唱、チャレンジ100、構成的グループエンカウンターなど
- ・特別活動や体験活動との関連

III 家庭や地域との連携を基盤にした道徳教育の推進体制を確立する。

- ・「学校応援団」の支援体制の強化
- ・情報発信の工夫

(4) 過去5か年間の研究主題および指定研究歴

平成17年度 一人ひとりの子どもが主体的に学ぶ授業づくり

— 一個に応じたきめ細かな指導のあり方 —

平成18年・19年度

一人ひとりの子どもが主体的に学ぶ授業づくり

— 見通しを持ち筋道を立てて考える力を育てる指導のあり方 —

平成20年度 人とのつながりを大切にし、よりよい生き方を求める実践力の育成

平成21・22年度 文部科学省指定道徳教育実践研究事業推進校

人とのつながりを大切にし、よりよい生き方を求める実践力の育成
～言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組み～

(5) 研修計画

月日	校 内 研 究	職 員 研 修
4/12 19 21	研究推進委員会 二部会 全体会	地域探訪 子どもを語る会 エンカウンター
5/26	研究推進委員会	郷土読物資料
6/7 16 23 24 29	二部会 授業研究学年部会 授業研究学年部会 授業分析会 2年 (道徳) 6年 (社会) 授業分析会 4年 (講師：押谷由夫先生)	プール機械操作 心肺蘇生研修会 小中連携 人授研
7/20 21	研究推進委員会	服務研修会 DIG ふるさと石部学研修 昔道具説明
8/3 9 11 24	全体会 (郷土資料・エンカウンター・語る会) 全体会・二部会 全体会 (講師：押谷由夫先生) 学年部会	市職員全員研修会 子どもを語る会 エンカウンター スクールガード 教科研修会 郷土読み物資料 滋人教
9/24 27	研究推進委員会 二部会	
10/4 8 15 18 25 27	授業研究学年部会 授業分析会 6年 (講師：押谷由夫先生) 研究推進委員会 二部会 授業研究学年部会	小中連携 教育講演会
11/2 17 24	授業分析会 1年 (講師：上田仁紀先生) 研究推進委員会 (紀要について) 二部会 (原稿分担)	特別支援教育研修会 子どもを語る会
12/1 8 20	授業分析会 5年 (講師：上田仁紀先生) 全体会 全体会	エンカウンター
1/17 24 26	授業研究学年部会 二部会 授業分析会 3年 (講師：上田仁紀先生)	
2/2 7 16 21 23	研究推進委員会 (紀要原稿締切1/31) 教育課程検討会 二部会 全体会 教育課程検討会	本年度の反省と次年度の計画 子どもを語る会
3	研究推進委員会 (次年度の研修計画)	

(6) 校内研究体制の概要

